

業績書（教育職員免許法施行規則第 22 条の 6 号関係）

氏 名	佐藤健二	学 位	理学博士
担当授業科目	地学概論 I, 地学概論 II, 地学実験		

1 経歴, 学会及び社会における活動等

<p><経歴></p> <p>いわき明星大学理工学部助手 (昭和 63 年 4 月～平成 7 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学教養部専任講師 (平成 7 年 4 月～平成 11 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学教養部助教授 (平成 11 年 4 月～平成 17 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学科学技術学部生命環境学科助教授 (平成 17 年 4 月～平成 18 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学科学技術学部生命環境学科教授 (平成 18 年 4 月～平成 22 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学大学院理工学研究科物質理学専攻主任 (平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学科学技術学部生命環境学科 主任 (平成 21 年 4 月～平成 23 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学科学技術学部科学技術学科 教授 (平成 22 年 4 月～平成 28 年 3 月)</p> <p>いわき明星大学科学技術学部科学技術学科 主任 (平成 26 年 4 月～平成 28 年 3 月)</p> <p>日本大学工学部非常勤講師 (平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)</p> <p>日本大学工学部生命応用化学科教授 (平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月)</p> <p>日本大学工学部非常勤講師 (令和 4 年 4 月～ 現在に至る)</p> <p><学会及び社会における活動等></p> <p>学会</p> <p>日本分析化学会東北支部副支部長 (平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月)</p> <p>日本分析化学会代議員 (平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月)</p> <p>日本分析化学会東北支部幹事 (平成 2 年 4 月～ 現在に至る)</p> <p>社会における活動</p> <p>福島県楡葉町 環境回復委員会委員 (平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月)</p> <p>福島県広野町 放射線健康対策委員会委員 (令和 2 年 4 月～ 現在に至る)</p> <p>福島県高校生ものづくりコンテスト 2015 ～ 2023 「化学分析部門」 審査委員長</p>
--

2 著 書

著 書 名	単著・共著の別	発 行 所 名	刊行年月日	備 考
分析化学/基礎編/第 2 版	共著	(株) 東京教学社	令和 3 年 4 月	
分析化学/機器分析編/第 2 版	共著	(株) 東京教学社	令和 3 年 4 月	

3 学術論文等

学術論文等の名称	単独・共同の別	発表雑誌等名	発行年月日	備考
福島第一原発事故から10年、放射性物質による影響評価と課題	単独	明星大学全学共通教育研究紀要, No.4, 69-72(2022).	令和4年	
陸生ラン藻イシクラゲの放射性セシウム蓄積へのカリウム化合物の影響	共同	Algal Resources, 13 (3),91-93(2020).	令和2年	
Localization of cesium and strontium in terrestrial cyanobacteria <i>Nostoc commune</i>	共同	Algal Resources, 9 (2),87-92(2016).	平成28年	
Accumulation of radioactive cesium released from Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant in wild plants grown on grassy plain	共同	自然環境科学研究, 29 , 41-47(2016).	平成28年	
市販防虫ネットを利用した陸生藍藻イシクラゲ <i>Nostoc commune</i> による放射性セシウムの吸収・固定法の効率化	共同	日本応用藻類学会誌 8 , 65-69(2015).	平成27年	
Impact of the Great East Japan Earthquake on Reproductive Biology of the Freshwater Teleost Bluegill <i>Lepomis macrochirus</i>	共同	The Open Environmental Sciences Journal, 8 , 18-23 (2014).	平成26年	

4 学会発表等

発表課題の名称	単独・共同の別	発表学会等の名称	発表年月日	備考
振動分光法によるフタル酸およびフタル酸エステル類の検出	共同	日本分析化学会第72年会 (2023年)	令和5年 9月14日	
Simple analysis of choline contained in mushrooms by color reaction using Froehde reagent	共同	2021年度化学系学協会東北大会 (2021年)	令和3年 10月3日	

A new presumptive color test reagent for stimulant and narcotic reagents	共同	2021 年度 化学系学協会東北大会 (2021 年)	令和 3 年 10 月 3 日	
Potential of diffuse reflectance infrared fourier transform spectroscopy for screening analysis of phthalate esters	共同	2021 年度 化学系学協会東北大会 (2021 年)	令和 3 年 10 月 3 日	
毒キノコに含まれる毒成分の呈色分析とその応用	共同	第 80 回 分析化学討論会 (2020 年)	令和 2 年 5 月 23 日	
呈色法による毒キノコ由来毒成分の迅速判別分析	共同	日本分析化学会 第 68 年会	令和元年 9 月 12 日	
福島県内各地域における放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放出原子炉(1~3 号機)別影響評価	共同	日本分析化学会 第 68 年会	令和元年 9 月 12 日	
Evaluation of the contamination situation of Fukushima and neighboring prefectures using Cs-134 and Cs-137 radioactivity ratio as an index	共同	2019 年度 化学系学協会東北大会(2019 年)	令和元年 9 月 21 日	
Simple and rapid analysis of poisonous mushroom by coloring method using Froehde reagent	共同	2019 年度 化学系学協会東北大会(2019 年)	令和元年 9 月 21 日	
各種違法薬物の呈色識別法の検討	共同	日本分析化学会 第 67 年会(2018 年)	平成 30 年 9 月 13 日	
赤外光音響分光法 (FT-IR/PAS)による総トランス脂肪酸の簡易分析法	共同	日本分析化学会 第 67 年会(2018 年)	平成 30 年 9 月 13 日	

福島県内の各地域における ¹³⁴ Cs/ ¹³⁷ Csの放射能比の相違と放出原子炉の推定	共同	日本分析化学会 第67年会(2018年)	平成30年 9月13日	
呈色法を用いた毒キノコと食用キノコの簡易判別法	共同	日本化学会 第98春季年会(2018年)	平成30年 3月21日	
各種違法薬物の呈色識別法の検討	共同	日本化学会 第98春季年会(2018年)	平成30年 3月21日	
キレート繊維を用いた希土類元素(Sc, Y, La)の吸着	共同	日本化学会 第98春季年会(2018年)	平成30年 3月21日	
福島第一原子力発電所事故によって汚染された福島県内各種農産物中の ¹³⁴ Cs/ ¹³⁷ Cs放射能比とその経年変化	共同	平成29年度 化学系学協会東北大会(2017年)	平成29年 9月16日	
蛍光X線分析法による国内外産ひじきの産地判別	共同	平成29年度 化学系学協会東北大会(2017年)	平成29年 9月17日	
Determination of the geographic origin of edible brown alga hijiki, <i>Sargassum fusiforme</i> , by inorganic analysis	共同	平成28年度 化学系学協会東北大会(2016年)	平成28年 9月10日	
GPS 歩行型サーベイメータを用いた空間放射線量率の測定および ¹³⁴ Cs/ ¹³⁷ Cs放射能比の経年変化	共同	第3回 海水・生活・化学連携シンポジウム(2016年)	平成28年 10月13日	

以上